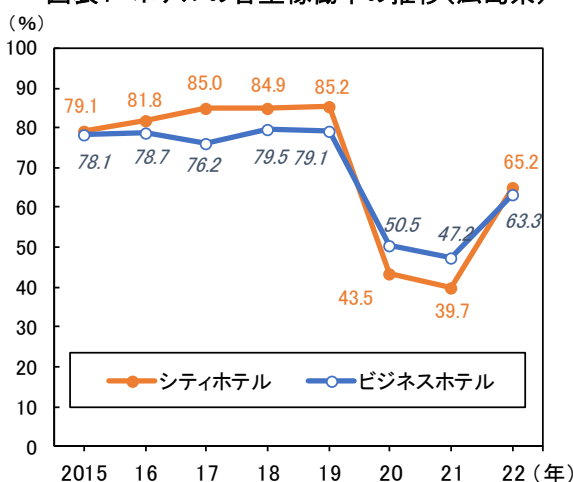


今後も増加が見込まれる広島市のホテル

ホテル客室数は3割近く増加

広島県内のホテルの客室稼働率は新型コロナウイルス感染拡大を受けて大きく落ち込みましたが、足下では漸く持ち直しつつあります(図表1)。その一方で、広島市では、2023年以降もJR広島駅周辺を中心に大型ホテルの新設が計画されており、2026年の客室数はコロナ禍前の2019年から3割近く増加すると見込まれます(図表2)。

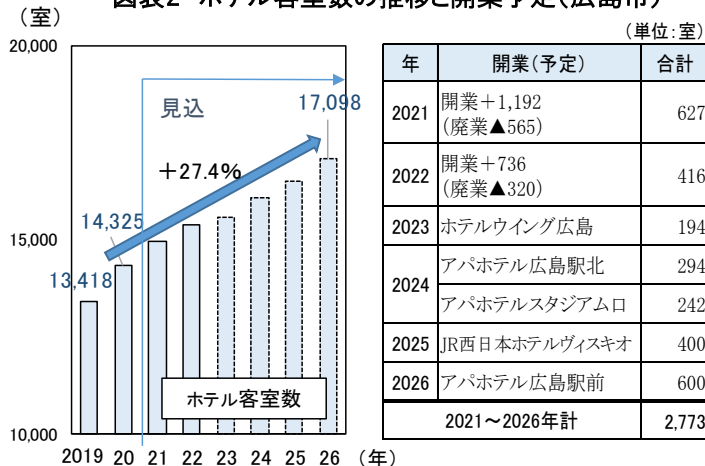
図表1 ホテルの客室稼働率の推移(広島県)



(注)2022年は10月単月

(資料)観光庁「宿泊旅行統計」より当部作成

図表2 ホテル客室数の推移と開業予定(広島市)



(注)2021年以降は見込値。23年以降は開業予定のみ勘案。

(資料)広島市「広島市観光概況」、開業業情報を基に当部作成

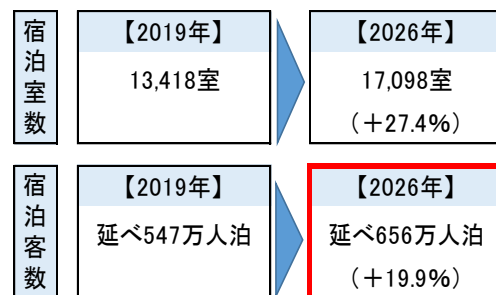
中長期的な需要創造に期待

近年の相次ぐホテルの新設により、広島市の宿泊機能の整備は着実に進んでいます。その一方で、ホテル間の競争は一段と激しさを増すとみられ、ホテル客室数の需給の均衡が保たれるには、ビジネスおよび観光需要がコロナ禍前水準を回復し、更に増加していく必要があります。

因みに、当部の大まかな試算では、2026年に客室稼働率70%を確保するためには、延べ宿泊者数が2019年比2割程度、増加する必要があります(図表3)。

その意味では、今年5月のG7サミットは、ホテル業界にとっても中長期的な需要の創造に向け、国内外に広島の魅力を発信できる重要な機会となります。

図表3 2026年の必要宿泊客数
(客室稼働率70%のケース)



(注)()内は2019年比

(資料)当部算出

- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当：畑 (TEL082-247-4958) までお願いします。